

東日本大震災復興支援

第68回国民体育大会中国ブロック大会

弓 道 競 技

期 日 平成25年8月17日(土)～18日(日)
会 場 山口県弓道場(維新百年記念公園弓道場)
主 管 山口県弓道連盟

競 技 会 役 員

競 技 会 会 長	岡村 豊太郎			
競 技 会 副 会 長	深町 芳洋	宇野 雪子	水谷 潔	中野 典之
競 技 会 顧 問	大村 憲一	佐藤 薫	宮脇 保博	菅原 喜久雄
	齋木 幸雄	小村 治男		

競 技 役 員

競 技 委 員 長	岡村 豊太郎			
競 技 副 委 員 長	深町 芳洋			
審 判 委 員 長	宮脇 保博			
射 場 審 判 委 員	菅原 喜久雄	齋木 幸雄	小村 治男	正法地 清
	三村 道昭	水谷 潔		
的 前 審 判 委 員	松岡 博之	小池 康一	加藤 速美	吾郷 省治
	中野 典之	平仲 由美子		
運 行 委 員 長	立野 誠司			
進 行 委 員	・久野 陽一郎	末廣 繁夫	藤本 宜美	吉田 幸生
招 集 委 員	・蔵重 敦子	土田 芳行	武内 玉江	末田 直基
記 録 委 員 長	三津田 員功			
記 録 委 員	・田村 敦子	末永 雅	河野 聡子	田中 美由紀
放 送・計 時 委 員	・細川 幸子	久野 英子	南崎 由美子	川崎 亮
的 前 委 員	・岡本 美幸	藤井 喜美子	上田 孝明	坂田 仁史
	秤谷 孝志	前田 法子		
総 務 委 員 長	矢後 雍信			
総 務 委 員	・宇野 雪子	中本 久美子	清水 昭宏	藤本 正明
	田中 裕子	武内 謙治	沼田 明文	
	・印は 長			

補 助 員 (学法)野田学園高等学校、山口県立山口中央高等学校、山口県立山口高等学校
山口県立大学から弓道部員合計24名程度

大会日程

8月16日(金)	9:00~17:00	公開練習 遠的・近的
8月17日(土)	9:00~12:00	公開練習 遠的・近的
	12:30	審判会議(山口県弓道場遠的射場)
	13:15	監督会議(同上)
	14:45	開始式 (山口県弓道場近的射場)
	15:00	矢 渡 (同上)
	15:30	遠的競技(山口県弓道場) 少年男子・女子
8月18日(日)	9:00	遠的競技(山口県弓道場) 成年男子・女子
	11:00	近的競技(山口県弓道場) 少年男子・女子
	12:50	近的競技(山口県弓道場) 成年男子・女子
	14:30	閉会式 (山口県弓道場近的射場)

式 次 第

開始式	閉会式
1. 開 会 通 告	1. 開 会 通 告
2. 拝 禮	2. 成 績 発 表
3. 主管県連会長挨拶	3. 表 彰
4. 競 技 上 の 注 意	4. 講 評
5. 選手宣誓	5. 主管県連会長挨拶
6. 閉 式 通 告	6. 拝 禮
	7. 閉 式 宣 言

矢 渡

射 手 教士七段	岡 村 豊 太 郎
第一介添 教士七段	宇 野 雪 子
第二介添 教士六段	平 仲 由 美 子

競 技 日 程

8月17日（土）遠的競技

2射場設置：少年男子・少年女子の順で競技する。

立番は、広島県・岡山県・山口県・島根県・鳥取県の順で競技する。

第1回戦 15:30～ 6立

第2回戦 6立

同中競射

8月18日（日）遠的競技

2射場設置：成年男子・成年女子の順で競技する。

立番は、広島県・岡山県・山口県・島根県・鳥取県の順で競技する。

第1回戦 9:00～ 6立

第2回戦 6立

同中競射

近的競技

3射場設置：少年男子・少年女子・成年男子・成年女子の順で競技する。

立番は、広島県・岡山県・山口県・島根県・鳥取県の順で競技する。

少年男子・少年女子

第1回戦 11:00～ 4立

第2回戦 4立

同中競射

成年男子・成年女子

第1回戦 12:50～ 4立

第2回戦 4立

同中競射

順位決定競射

競技終了

弓道競技本部・記録本部

山口県弓道場（山口市維新公園4-1-1）

記録責任者：記録委員長

山口県弓道連盟 三津田 員功

（携帯電話 080-1930-6529）

選手名簿

[少年男子]

立番	県名	監督名	立順	選手氏名	生年月日	段位	所属
1	広島	安武 守昭	1	前田 太門 マエダ タモン	H8. 10. 28	無	崇徳高校
			2	加藤 知大 カウ カズヒロ	H7. 5. 25	弐段	広島工業高校
			3	北野 龍志 キタン リウウジ	H7. 5. 31	弐段	広島工業高校
2	岡山	吉田 英生	1	角南 淳 スミ アン	H7. 9. 16	初段	岡山県立岡山工業高等学校
			2	木村 直樹 キムラ ナオキ	H8. 7. 25	無	岡山県立岡山工業高等学校
			3	浮森 一樹 ウキ モトキ	H7. 4. 14	弐段	岡山県立岡山工業高等学校
3	山口	佐伯 佳典	1	上田 智之 ウエダ トモユキ	H8. 10. 3	無	山口県立宇部中央高等学校
			2	平原 聖也 ヒラハラ セイヤ	H8. 6. 25	無	山口県立下松工業高等学校
			3	福田 敦也 フクダ アツヤ	H9. 2. 12	弐段	山口県立南陽工業高等学校
4	島根	岩田 泰典	1	小新 好輝 コン ヨシキ	H8. 3. 23	弐段	島根県立出雲工業高等学校
			2	藤田 波輝 フジタ ナミキ	H8. 7. 16	無	島根県立出雲高等学校
			3	三谷 郁弥 ミヤ フミヤ	H7. 12. 31	弐段	島根県立出雲工業高等学校
5	鳥取	福光 善太	1	藤井 貴宏 フジイ タカヒロ	H7. 12. 12	無	鳥取県立倉吉西高等学校
			2	今井 徹 イマイ トオル	H7. 5. 27	無	鳥取県立倉吉西高等学校
			3	加藤 陸 カウ リク	H7. 8. 10	無	鳥取県立倉吉西高等学校

記 録

[少年男子]

立番	県名	立順	遠 的 競 技					近 的 競 技					得点 合計	総合 順位
			1回	2回	計	合計	順位 得点	1回	2回	計	合計	順位 得点		
1	広島	1					位					位	点	位
		2												
		3												
2	岡山	1					位					位	点	位
		2												
		3												
3	山口	1					位					位	点	位
		2												
		3												
4	島根	1					位					位	点	位
		2												
		3												
5	鳥取	1					位					位	点	位
		2												
		3												

選 手 名 簿

[少年女子]

立番	県名	監督名	立順	選手氏名	生年月日	段位	所 属
1	広島	住本 一	1	スギノ 加奈 杉野 加奈	H8. 3. 12	弐段	呉市立呉高校
			2	カジヤマ 智帆 梶山 智帆	H7. 6. 26	弐段	県立広島皆実高校
			3	ヒラノ 亜海 平野 亜海	H8. 2. 20	初段	広島文教女子大附属高校
2	岡山	神尾 沙織	1	アヅキ 友紀 青木 友紀	H7. 7. 22	無	岡山県立興陽高等学校
			2	イケモト 風光 池本 風光	H8. 4. 27	無	岡山県立岡山工業高等学校
			3	クワシマ 春花 桑島 春花	H8. 2. 3	無	岡山県立津山工業高等学校
3	山口	河野 弘	1	ウエノ 友美 植野 友美	H8. 3. 16	無	山口県立宇部西高等学校
			2	フジノ 萌 藤野 萌	H7. 8. 10	無	山口県立宇部西高等学校
			3	マツイ 琴子 松井 琴子	H7. 11. 20	初段	山口県立宇部西高等学校
4	島根	渡部 敏郎	1	チヤキ 葵 茶木 葵	H7. 6. 26	初段	島根県立大社高等学校
			2	ニシコオリ ナオ 錦織 奈央	H8. 10. 9	無	島根県立出雲高等学校
			3	カゲヤマ なつみ 影山 なつみ	H7. 10. 24	無	島根県立出雲高等学校
5	鳥取	小山 英男	1	アサイ 初音 浅井 初音	H7. 8. 26	無	鳥取県立倉吉西高等学校
			2	ヤマモト リナ 山本 璃奈	H9. 1. 13	無	鳥取県立倉吉西高等学校
			3	テラジ リカ 寺地 梨香	H7. 5. 22	無	鳥取県立倉吉西高等学校

記 録

[少年女子]

立番	県名	立順	遠 的 競 技					近 的 競 技					得点 合計	総合 順位		
			1回	2回	計	合計	順位 得点	1回	2回	計	合計	順位 得点				
1	広 島	1													点	位
		2														
		3														
2	岡 山	1													点	位
		2														
		3														
3	山 口	1													点	位
		2														
		3														
4	島 根	1													点	位
		2														
		3														
5	鳥 取	1													点	位
		2														
		3														

選 手 名 簿

[成年男子]

立番	県名	監督名	立順	選手氏名	生年月日	段位	所 属
1	広島	町屋 大輔	1	カワムラ シュンスケ 河村 俊介	S48.10.30	五段	(株) 睦
			2	イトウ カツジ 伊藤 勝次	S49.6.6	錬六	有田建設(株)
			3	マチヤ ダイスケ 町屋 大輔	S57.7.16	錬六	三菱化学エンジニアリング(株)
2	岡山	西村 英信	1	ヨシダ アキオ 吉田 章朗	S50.4.19	五段	岡山県警察
			2	フルヤ ツム 古谷 勉	S39.2.21	三段	マルシゲ工業株式会社
			3	ニシムラ ヒデノブ 西村 英信	S42.6.10	五段	J F E メカニカル株式会社
3	山口	上野 隆夫	1	タカハシ ヨシノリ 高橋 克典	H3.3.11	五段	山口大学大学院
			2	シライシ マサヒロ 白石 昌大	H5.1.27	四段	宇部工業高等専門学校 専攻科
			3	ウエノ タカオ 上野 隆夫	S38.2.8	教六	山口県立萩総合支援学校
4	広島	水谷 充也	1	ジョウイチ ミツ 城市 貢	S34.8.14	錬六	株式会社 みやこ編物
			2	シオケ アツシ 塩毛 敦氏	S52.8.18	錬五	しまね信用金庫
			3	ミズタニ ミツヤ 水谷 充也	S29.5.1	五段	いずも農業協同組合
5	鳥取	盛田 圭一朗	1	カワモト ユウヘイ 河本 悠平	H1.2.7	初段	倉吉魚市株式会社
			2	モリタ ケイチロウ 盛田 圭一朗	S51.2.23	四段	(公財) 鳥取県体育協会
			3	ホンダ ヨウヘイ 本田 洋平	S53.4.26	錬五	(公財) 鳥取県体育協会

記 録

[成年男子]

立番	県名	立順	遠 的 競 技					近 的 競 技					得点 合計	総合 順位
			1回	2回	計	合計	順位 得点	1回	2回	計	合計	順位 得点		
1	広島	1					位					位	点	位
		2												
		3												
2	岡山	1					位					位	点	位
		2												
		3												
3	山口	1					位					位	点	位
		2												
		3												
4	島根	1					位					位	点	位
		2												
		3												
5	鳥取	1					位					位	点	位
		2												
		3												

選 手 名 簿

[成年女子]

立番	県名	監督名	立順	選手氏名	生年月日	段位	所 属
1	広島	奥 貴美子	1	奥 貴美子	S41. 7. 21	五段	呉市弓道連盟
			2	青木 綾香	H6. 2. 5	参段	広島工業大学
			3	玉木 里奈	H3. 10. 10	参段	安田女子大学
2	岡山	有森 照美	1	赤澤 和子	S31. 12. 5	錬六	総社弓道会
			2	村上 真理	S51. 1. 12	参段	OSKスポーツクラブ 岡山
			3	有森 照美	S30. 7. 12	五段	岡山中央弓道会
3	山口	松田 智子	1	濱中 唯衣	H3. 8. 13	弐段	山口学芸大学
			2	本田 智誉	H5. 7. 13	参段	宇部工業高等専門学校
			3	松田 智子	S53. 2. 10	四段	山口市弓道連盟
4	島根	水谷 由起江	1	高橋 美沙	H1. 10. 3	弐段	棕齒科医院
			2	兒玉 由貴子	S51. 12. 27	参段	島根県産業技術センター
			3	水谷 由起江	S30. 4. 6	四段	飯南町立頓原中学校
5	鳥取	岡野 菜扇子	1	岡野 菜扇子	S54. 5. 31	参段	佐々木齒科医院
			2	種田 薫	H6. 12. 5	弐段	鳥取短期大学
			3	小谷 沙織	S63. 10. 2	五段	倉吉信用金庫

記 録

[成年女子]

立番	県名	立順	遠 的 競 技					近 的 競 技					得点 合計	総合 順位
			1回	2回	計	合計	順位 得点	1回	2回	計	合計	順位 得点		
1	広 島	1					位					位	点	位
		2												
		3												
2	岡 山	1					位					位	点	位
		2												
		3												
3	山 口	1					位					位	点	位
		2												
		3												
4	島 根	1					位					位	点	位
		2												
		3												
5	鳥 取	1					位					位	点	位
		2												
		3												

成 績 一 覽 表

種 別	県 名	遠 の 競 技			近 の 競 技			総 合 成 績	
		得 点	順 位	順位点	の 中	順 位	順位点	得点合計	順 位
少年男子	広 島								
	岡 山								
	山 口								
	島 根								
	鳥 取								
少年女子	広 島								
	岡 山								
	山 口								
	島 根								
	鳥 取								
成年男子	広 島								
	岡 山								
	山 口								
	島 根								
	鳥 取								
成年女子	広 島								
	岡 山								
	山 口								
	島 根								
	鳥 取								

第 6 8 回国民体育大会出場県

少年男子 _____ 県 _____ 県

少年女子 _____ 県 _____ 県

成年男子 _____ 県 _____ 県 _____ 県

成年女子 _____ 県 _____ 県

競技上の規定及び方法

1. 審判規定は、公益財団法人全日本弓道連盟「弓道競技規則」による。
2. 競技種目は、遠的種目及び近的種目とし、両種目とも同一選手によって行う。
3. 競技方法
 - (1) 競技は、1日目：遠的競技 少年男子、少年女子
 - (2) 競技は、2日目：遠的競技 成年男子、成年女子
近的競技 少年男子、少年女子、成年男子、成年女子の順で行う。
 - (3) 競技は、遠的競技2射場、近的競技3射場で行う。
 - (4) 競技の立番は、広島、岡山、山口、島根、鳥取の順で行う。
 - (5) 競技は、遠的競技は立射で行い、近的競技は坐射で行う。
 - (6) 競技の所要時間は、遠的競技は6分以内、近的競技は7分以内とする。
1立の所要時間30秒前に注意の合図を行う。
 - (7) 本鈴（制限時間）時に射残した矢は失権。本鈴と同時に無効とする。
 - (8) 替弓・替弦の処理方法
 - ① 弦切れ（替弦・替弓）及び弓の破損（替弓）の場合は、役員が処理を行う。
 - ② 少年男女の監督がいる場合は、役員と監督が連帯して処理を行う。
 - ③ 替弓・替弦・替矢は、役員（少年男女は監督）が選手の後ろに続いて持参する。
 - ④ 替弓・替弦・替矢は、射場内の指定場所に置く。
 - ⑤ 弦切れがあった場合は、行射中の2チーム共「制限時間なし」とする。
ただし、行射の前後動作が間延びする時は注意する。
 - ⑥ 的の転がり修正及び射場・矢道・的場での不安全状況の発生により、審判が
停止指示を出した場合は、行射中の2チーム共「制限時間なし」とする。
 - ⑦ 弓の破損により替弓の処理時間は「制限時間内」とする。
 - (9) 的中(得点)の再確認について
監督及び監督兼任選手は、審判員の裁定に従い、射場での的中(得点)の再確認を
申し出ることができない。
 - (10) 異議申立の方法
 - ① 異議申立については、監督及び監督兼任選手が行う。
 - ② 監督兼任選手は、自分が射終われば射場にて挙手をし、監督席に移動して
着席する。
 - ③ 全選手が射終わった時、挙手をして進行委員に申立てる。
 - ④ 少年男女の場合は、監督がこれを行う。
4. 遠的種目（射距離60m、直径100cm得点的、得点制）
全種別とも各自4射ずつ2回（団体24射）を行い、種別ごと最高得点団体を最上位
とし、以下得点で順位を決める。ただし、得点と同じ場合は、次の順序によって決める。
 - (1) 得点になった総的中数の多い方を上位とする。
 - (2) 同的中数の場合は、高い得点からの中数を順次比較し、多い方を上位とする。
 - (3) 以上の条件が全く同じ場合は、各自1射（団体3射）の競射を行う。
 - (4) 同得点による競射を行い、同得点となった場合においても上記(1)、(2)により
順位を決める。

5. 近的種目（射距離 28 m、直径 36 cm 霰的、的中制）
全種別とも各自 4 射ずつ 2 回（団体 24 射）を行い、種別ごと最高的中団体を最上位とし、以下の中で順位を決める。ただし、同中の場合は、各自 1 射（団体 3 射）の競射を行い、順位を決める。
6. 射詰め競射の場合は、遠的、近的とも取矢をしてもしなくてもよい。
7. 成績採点方式
 - (1) 各種目（遠的競技・近的競技）とも、1 位－5 点、2 位－4 点、3 位－3 点、4 位－2 点、5 位－1 点を与える。
 - (2) 得点合計が同点の場合は、遠的競技、近的競技のいずれか上位点のあるものを上位とする。更に順位が決定しない場合は、近的により各自 1 射（団体 3 射）の競射を行い、順位を決める。
8. 使用する弓具
両種目とも、日本弓具を使用すること。
9. 選手は矢を 6 本（予備矢 2 本を含む）用意すること。同中（点）競射の 1 本目は予備矢から使用する。
10. 競技中の服装は、弓道衣（白筒袖、黒袴、白足袋）とする。少年は紺袴も認める。
11. 申込書記載の立順は変更することができない
12. 選手変更及び立射申請・取矢免除申請
 - (1) 選手変更
参加申込み後の選手変更は特別な事情がない限り認めない。選手変更する場合は、本大会の審判会議までに競技委員長に文書で提出する。但し、立順を変更することはできない。
 - (2) 立射申請・取矢免除申請
本大会の審判会議までにその理由を明記した文書を競技委員長へ提出すること。その際、障害者手帳の写し、又は診断書を添付すること。なお、審判会議以降に発生した場合も同様とする。

参加資格、所属県及び選手の年齢基準

1. 実施要項総則5に定めるもののほか、次による。
 - (1) 監督は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認弓道指導員、公認弓道上級指導員、公認弓道コーチのいずれかの資格を有していること。なお、第68回大会の特例として、平成24年度公認資格養成講習会の修了者（平成25年10月1日付認定予定者）及び平成25年度公認資格養成講習会の受講者については、公認資格取得者と同等の者として扱う。

表 彰

1. 各種別・各種目及び総合 の第1位から第3位までに賞状を授与する。

進行についての注意点

1. 遠的競技
 - (1) 進行の早い方の立ちの「落」の3本目の離れで入場する。
 - (2) 椅子に着席して待つ。
 - (3) 「起立」の合図により立ち、本座に進む。
 - (4) 「始め」の合図により「揖」をして、射位に進む。
2. 近的競技
 - (1) 進行の早い方の立ちの「落」の3本目の離れで入場する。
 - (2) 本座にて跪坐で待つ。
 - (3) 「始め」の合図により「揖」をして立ち、射位に進む。
3. 取矢を実施すること。但し、射詰め競射の場合は、取矢をしてもしなくてもよい。
4. 県名を示すゼッケンを着用のこと。ゼッケンは、右腰前が見やすい位置に付けること。